

## 藤木農林水産大臣政務官の強烈寒波に伴う海苔養殖施設の被害現場視察

日 時：令和5年1月29日（日）

場 所：有明海熊本県沿岸海苔養殖漁場

参加者：議員及び行政機関（全14名）

農林水産大臣政務官	藤木 眞也 氏
水産庁栽培養殖課長	櫻井 政和 氏
九州漁業調整事務所長	三野 雅弘 氏
熊本県議会議員	竹崎 和虎 氏
熊本県農林水産部長	竹内 信義 氏
熊本市農水局長	大塚 裕一 氏
他 行政機関職員	

### 漁業者代表

熊本県漁連代表理事会長	藤森 隆美	
熊本県漁連第一部会長	橋本 孝	（県漁連副会長理事）
熊本県漁連第二部会長	吉本 勢治	（県漁連代表監事・海苔専門検討委員長）
熊本県漁業共済組合長	浜口 多美雄	

令和5年1月24日の強烈寒波に伴う強風により過去に前例のないほどの被害を受けた本県海苔養殖漁場の実情や漁業者の抱える課題を確認するため藤木眞也農林水産大臣政務官（参議院議員）が来熊され視察をされました。

視察は26日に続き2度目で、本日の視察には藤木農林水産大臣政務官を始め水産庁、県議会並びに関係行政機関の皆様に参加・同行いただき、被災漁業者を代表し同行した藤森県漁連会長を始め各地域や団体の代表から「色落ちなど厳しい養殖環境から好転の兆しが見え始め良質な海苔の摘採が目前に迫った矢先の被害で、漁業者の生産意欲に大きな支障が生じていること」や「被害は海苔養殖を行っている本県有明海全地域で生じており、程度や回復の見込みなど現在調査中であること」、「改修できない養殖施設の撤去や来期以降の海苔養殖再開に係る厳しい現状と先行き不透明感」など、2隻に22名が乗船して出向いた被災現場で現状を見ながら被害の大きさと漁業者の落胆、今後の対応の難しさを踏まえた再起への方策について国、県、市へ強く協力を求められました。

【説明及び意見交換風景（海上）】



【説明及び意見交換風景（帰港後）】

